

&lt;報道資料&gt;

2012年9月10日  
テーラーメイドゴルフ株式会社

## テーラーメイド-アディダスゴルフ契約プロ

# ピーター・ハンソン、『R11S』を駆使し、今季初勝利！

## 『R11S』が欧州男子ツアー2連勝を記録！！

テーラーメイドゴルフ株式会社(本社:東京都江東区/代表取締役社長:菱沼信夫)では、同社が展開する「テーラーメイド-アディダスゴルフ」の契約プロ、ピーター・ハンソンが9月6日～9月9日に開催された「KLMオープン」(開催場所:ヒルファーサム GC/オランダ)にて2年ぶりとなる今季初勝利を飾りました。

首位タイに4選手が並ぶ混戦状態の最終日、首位と1打差からスタートしたピーター・ハンソンは『R11S ドライバー』を駆使し、1イーグル、3バーディー、2ボギーのトータル67をマーク。通算266の14アンダーの逆転で通算5勝目のタイトルを獲得しました。

今回の勝利に伴い、先週開催された「オメガ・ヨーロッパ・マスターズ」において優勝したリッチー・ラムゼイに続き、『R11S ドライバー』が欧州男子ツアーで2連勝を記録。さらに同大会において、出場者156人中26名が『R11S ドライバー』を使用し、モデル別使用率においてもNo.1<sup>\*1</sup>を獲得しました。

さらに、世界のツアーでも『R11S ドライバー』が12勝目を獲得するなど、テーラーメイド-アディダスゴルフの製品が、世界のツアーにおいて勝利に大きく貢献しています。



「R11S ドライバー」を駆使し  
今季初勝利を飾ったピーター・ハンソン

ピーター・ハンソン 使用スペック<sup>\*2</sup>

ドライバー	: 『R11S ドライバー』 (8°)
フェアウェイウッド	: 『BURNER SUPERFAST 2.0 フェアウェイウッド』 <sup>*3</sup> (13.5°)
ユーティリティ	: 『RESCUE 11 TP』 (18°)
アイアン	: 『Tour Preferred® MB Forged アイアン』 (#4～PW)
パター	: 『SPIDER Itsy Bitsy GHOST』
ボール	: 『PENTA TP 5』 ボール <sup>*4</sup>
フットウェア	: アディダスゴルフ

\*1: Sports marketing surveys 調べ(2012年9月10日時点)

\*2: 使用スペックに関しては一部、市販モデルとは仕様が異なる場合があります

\*3: 『BURNER Superfast 2.0 フェアウェイウッド』は日本においては『BURNER Superfast 2.0 TP フェアウェイウッド』という名称で展開。

\*4: 『PENTA TP 5』ボールは日本においては未展開モデルとなります。

## ■ 「R11S ドライバー」

『R11S ドライバー』では、新たに 5 通りのフェースアングル調整を可能にする New「ASP(アジャスタブル・ソール・プレート)」を搭載。ロフト調整機能の「FCT(フライト・コントロール・テクノロジー)」、そして弾道調整を可能にする「MWT®(ムーバブル・ウェイト・テクノロジー)」の 3 つの調整機能を組み合わせることで 80 通りの弾道調性が可能。さらに、ホワイトカラーを施したクラウン部がアドレス時における安心感と集中力向上に貢献。ブラック PVD 加工されたフェースとのコントラストがターゲットに向かって正確なアドレスをサポートします。また、460CC のオーソドックスなヘッド形状が高い慣性モーメントと低深重心化を実現、高い直進性と大きな飛距離を導き出します。



### 【TaylorMade Golf Inc./ テーラーメイド ゴルフ株式会社について】

TaylorMade Golf Inc.,(米国)は 1979 年の創立以来、最高品質のゴルフ用品を提供する世界のゴルフシーンにおけるリーディングカンパニーです。1998 年にはアディダスグループの完全子会社となり、「アディダスゴルフ」ブランドのフットウェアおよびアパレルを中心としたラインナップも展開。2009 年には「アシュワース」ブランドのアパレルを中心としたプロダクトの展開を開始。日本では 1986 年から事業を開始し、現在はテーラーメイド ゴルフ株式会社として「テーラーメイド」、「アディダスゴルフ」に加え、「アシュワース」ブランドを展開。ツアープロを始め、あらゆるゴルファーのニーズに応える幅広い製品を提供し続けています。

### 【アディダスグループについて】

アディダスグループはスポーツ用品業界をリードする世界的な企業です。同グループが抱える「アディダス」、「リーボック」、そして「テーラーメイド」を中心に幅広い製品を通して消費者のニーズに基づいた戦略的かつ相互補完的な発展を目指しています。